

後藤宙外 ちゆうがい 小説家、評論家、郷土史家。慶應二年十一月二十一日出羽國仙北郡生れ。昭和十二年六月十一日歿（八三—九六）。本名寅之助。別號守拙庵、宙外生、根ねの庵、根來庵、花はなのつと、落羽庵等。明治二十七年東京專門學校卒。二十一年雜誌「新著月刊」の、二十二年「新小説」の編輯主任となる。四十一年中島狐島、笹川臨風等と文藝革新會を興す。大正二年秋田時事新報社社長、八年仙北郡八郷町長就任、傍ら郷土史、考古學研究に専心。

著書「よら露」(明治二十一年十一月二十一日春陽堂)、新機軸

(明治二十一年十一月二十一日春陽堂)、美文叢下滴泉(合著)。

石橋愛太郎編、明治二十二年九月十八日大學館「名家文庫」、風

雲集」(抱合著、明治二十二年四月二十八日春陽堂)、海内團

(明治二十二年七月十五日春陽堂)、江松之研究(合著、坪内逍

遙川編、明治二十二年十一月十五日春陽堂)、陽炎集(明治二十四

年一月一日春陽堂)、創作苦心談(合著、新聲社編、明治二十四

年二月五日新聲社)、わぐろ泡(明治二十五年五月十五日春陽

堂)、男女學生氣質(附錄學生消息法)(合著、新公論社、高島大圓

編、明治二十九年二月二十九日鶴聲堂書店、月心と影・前編」

(明治二十九年八月十日春陽堂)、睡玉集(伊原青々園共編、

明治二十九年九月十九日春陽堂)、名倉山(明治四十一年四月十

五日春陽堂)、非自然主義(明治四十一年九月十五日春陽堂)、

「裾野」全二冊(明治四十一年一月一日春陽堂)、秋田みやび文名蹟々

(合著、青柳有美編、明治四十一年八月八日秋田・大島商會)、吉

「鬪」(明治四十四年七月十六日水野書店)、草あやめ(明治四十

四年十一月十一日春陽堂「現代文藝叢書」）、
 「古今の婦人」(合著・編寫四郎編、大正元年九月十六日婦女新聞社)、
 「神代志王朝史前々太平記」(橋墩合著、昭和二年一月十日早稻田大學出版部「物語日本史大系」)、
 「徳川大正志」(昭和二年十一月四日早稻田大學出版部「物語日本史大系」)、
 「池田文太郎翁」(昭和五年九月二十一日秋田・池田文太郎翁記念會)、
 「明治文壇回顧録」(昭和十一年五月二十日圓倉書房。再刊・二十九年八月十日河出書房「河出文庫」)等。